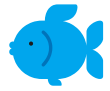




もい・かわだよ N0.29



2023.10.04 なかよしこども園

今日は運動会のアーチに飾る『ちびチビ自分』を作りました。赤白のリレーのゼッケンをつけたちっちゃい自分。どちらのクラスもこの『ちびチビ自分』を作った後に本番の走順を決める予定でした。それぞれが好きな模様や番号をゼッケンに描き入れる中、アンカーの【22】番を描いている子が何人もいました。『なりたい自分』を表現していたんですね。

当日、入場門に飾りますのでぜひこちらも楽しみにしててください！

そして、みんなが作り終わりクラスに分かれてのミーティングです。当日の走順を決めるミーティング。どんな話し合いがもたれたかお伝えします。

🌳 もい組編(お休み・・・ゆうき、れおな、なお)

【10月4日(水) もり組全員リレーの危機！】

昨日の夕方、**こうた**がボードを見つめてさらに作戦を練っていました。今日走順を決める時にはそれを元にみんなの意見を聞こうと思っていました。昨日負けている分、絶対本番勝つぞ！という気持ちが盛り上がっているもり組。そんな中、今までリレーの時には張り切って走っていた**かなた・きっぺい**が『やりたくない』とお部屋に戻ってきません。

吉田『これから本番の走る順番決めるから、一緒に話を聞いてほしいんだ』と誘っても『はしなくていい』と言っていました。吉田は部屋に戻り、**かなた**と**きっぺい**の気持ちをそのままみんなに伝えました。すると『みんなではしらないとまけちゃう！むかえにこう！』とクラス全員が二人のもとへ走り出しました。**みんな**『みんなではしらないとまけちゃうんだよ！』

『ほんとうにぎんメダルでいいの？』『もりぐみぜんいんのことだから**かなた**と**きっぺい**もやろう！』みんなの思いを聞いて、どう答えていいか迷ったのでしょう。

二人はその場から走りだしました。追いかけるみんな。もう、どちらも後には引けません。立ち止まった**かなた**に、みんながもう一度話します。何を言っても『やだ』という**かなた**に、**なつき**『どうしてもはしりたくないの？』『まな』『**かなた**もぜったいかちたいっていったのに・・・』『**くまい**』『やらないとまけちゃうよ』吉田『**かなた**の気持ちは分かったから、お部屋に戻って話そう。**かなた**と**きっぺい**のことを話すからお部屋で聞いててね。』ともり組へ。。

部屋に戻り**かなた**と**きっぺい**はコーナーの机の上に座っている。みんなは思いを話し出す。

あおい『はやりひとがいなくなっちゃうなんてもっとおそくなっちゃう』『**とうぎ**『いままで**かなた**たちやってくれてたのに』『**なつき**『もりぐみ、みーんなのリレーだよ』

吉田『今までは運動会で一人で走っていたけど、年長になったからみんなで一つのバトンをつないで走るんだよね。そのためにずっと作戦立ててきたんだよね。』『**まな**『かなしい・・・』

あおい『**かなた**がいないとリレーかてないし、**かなた**がいちばんはいいんだよ！』

かすみ『**きっぺい**だってはやいのさ、いままでじゅんばんとかいいよっていつてくれたり、れ

んしゅうだっていっしょにしてくれてたのに、もうやめるなんておかしいよ・・・』

吉田『そうだね。もり組が勝つために**こうた**に順番ゆずってくれたこともあったよね。』

は)まい『だから**きっぺい**はやさしいんだよ！』 **かすみ**『1 ねんせいになってやっぱりきんメダルとりたかったなっておもっちゃうかもよ』 **は)まい**『わすれちゃうかも・・・』

あきと・かすみ『わすれないよ！！』 **かすみ**『おもいでだよ！わすれるわけないよ』

吉田『あんこちゃんは今までやりたくない時はやらなくていいよって言ってきたの。みんなの気持ちを一番に大事にしたいって思ってたの。だからこそ、やりたくないって言った**かなた**と**きっぺい**の気持ちをちゃんとみんなに考えてほしいんだ。』

あおい『あといなくなったの**チャーちゃん**だよ』 **かすみ**『**チャーちゃん**はかわぐみだから』

と、ここで今まで一度も走ったことの**ないたいき**の名前が出てきました。

吉田『じつは、今かわ組も**チャーちゃん**ずっと走ってなかったけどどうしようかってミーティングしてます。(みんな表情を変えてぐっと聞き入っている。)今までもり組は走りたくないって言っても頑張って走ったり、走らなくてもいいよっみんなが言ってくれたら走れるようになったり、全員で走ることができたよね。それがみんなの力だなんて思ってたんだ。』 **あおい**『あんこちゃんだってだんだんおおきくなって、みんなのことまもりたいっておもってきたんでしょ？』(えー、なんでそんなことわかってくれるのー 🤔 あんこ心の声)

吉田『そうだよ。本当に大事なみんななの。**かなた**も**きっぺい**も大事、だからこそ、今日は一緒に話を聞いて欲しかったんだ。これから本番で走る順番を決めるけど、二人がいなかったらみんなどうしたらいいかな？』 **は)まい**『だれかがにかいはしればいいんじゃない？』

吉田『それでいいのかな・・・』 **あきと・とうぎ**『(手を挙げて)にかいはしるー』

するとここでコーナーで聞いていた**きっぺい**が『**きっぺい**はしる！』と言ったのです！みんなは『**きっぺい**ありがとう！』と拍手して喜び合いました。

吉田『**かなた**の分はどうしようか』それぞれに『誰かが二回走る』『もりぐみ全員のリレーだから走ってほしい』と思いを口にしてみんなの気持ちはよく分かったので、**かなた**がどうして走りたくないか？を聞いてみることにしました。でも**かなた**は頑なに気持ちを閉ざしてしまっていました。

吉田『**かなた**、どうして走りたくなくなっちゃったのか教えてくれる？』 **かなた**『・・・』 **は)まい**『いつもはしってるからつかれちゃったんじゃないの？』 **まな**『たぶんモヤモヤだよ』

あおい『**かなた**のばしょにすわってはなしきいてみたら？』 吉田『そうだね。そう思ったらそうしてごらん』すると椅子に座っていたみんなが『よし、いこう！』 **かなた**の所に集まりだしました。**かなた**のところに集まるみんなの背中の方強いことと言ったら 🤔

みんなは**かなた**に寄り添い、一生懸命説得します。**かなた**は『やりたくないんだよ！』と気持ちをぶつけます。『**かなた**がやってくれないとぎんメダルのままだよ』 **かなた**『しってるよ！』 どんどん閉じていた**かなた**の気持ちがみんなの力であふれ出します。すると**まな**が『やりたいきもちもあるし、やりたくないきもちもある。それがまざっちゃってるのかな』まさに**まな**の言う通りこの時の**かなた**の気持ちは、分かってはいるけれどどうしたらいいかわからない、モヤモヤの状態だったと思います。いつも走っていた**かなた**がみんなの気持ちを分かって

くれないもどかしさでみんなはどうしたらいいのか悩んでいました。なんと声をかけていいか分からなくなってしまったのです。そこで**ひろや**が口を開きました。『いまはさ、**きっぺい**とあそびただけでさ、うんどうかいでははしってくれるとおもうよ』
どうにもならないかなたの気持ちを**ひろや**が代弁してくれたんですね。

かなたの気持ちを聞いて、もう一度みんなで考えることに・・・

でも、もうどうしたらいいか答えが見つかりません。**かなた**の気持ちを考えながらこんな思いが出てきました。**まな**『こんなことはじめてだよ。いつもかなたはニコニコなのに』

とうぎ『あと、げんきだったしさ』**かすみ**『かなたににあうのはニコリするのが**かなた**だよ』このみんなの言葉で分かりました。今までは走りたくない気持ちに寄り添い、それを認め合ってきた子どもたちが、ここまで『もり組みんなで走らないと意味がない』とかなたに迫ったのは、**かなた**がみんなの中で足が速く、いつも懸命にリレーを走り、みんなの中でニコニコ元気な仲間だったからなのです。だからこそ、『みんなで走るリレー』を大切にしていたんだって思います。

そして、**ひろや**が言ったように**かなた**が走りたくない気持ちに共感し始めました。『そういうときもあるよね』と。**かなた**の走りたくない気持ちを受け止めて本番のことを話し合いました。吉田『本番はかなた走ってくれるかな？みんなはどうしてほしい？』みんな『はしってほしい！』吉田『これから順番を決めるけど、走りたくない**かなた**を入れないで考える？それともはしってほしいから**かなた**もいれて順番を決める？』すると**あきと**が『ちょっとまって、おもいだしたかも。**かなた**がずっとアンカーやってないからじゃない？』みんな『ざわざわ』『ちょっと**かなた**にきいてみる？』**かなた**にかけよるみんな。もうここからは吉田は撮影者でしかありません。みんな『アンカーやりたいの？』**かなた**『うなずく』みんな『やっぱりアンカーやりたかったんだね』『じゃあきょうはアンカー**かなた**できまりー！』子どもたちが自分たちでボードを持ち出し、どんどん自分たちで話し合い順番を決め始めました。休みの子もいたので、『にかいはしたいひとー！』『はーい、じゃんけんするよー』

もう大人は必要ありませんでした。その姿は、お互いを認め合い、自信に満ち溢れた、子どもたちの姿だったのです。大人はただのサポーターで、自分たちでちゃんと育ちあっていくんですね。もり組のみんな、本当にすごい！



子どもたちで決めた走順は・・・

雨模様だったこともあり対決はせず、この順番で練習をしました。

お帰りが終わると、こうたが『じゅんばんかんがえたい』と言うので、アンカー勝負の結果も渡し、みんなにも了承を得て、みんなもお家で考えてきてねとこの日はさよならをしました。



【10月5日(木) 本番の順番決め】

今日はかなたもいつものニコニコかなたでミーティングに参加。昨日の夕方こうたが考えた走順をみんなに提案すると、みんな大賛成！

本番の走順は



そして金メダルを取り返しました！！

みんなが満足する形でこの順番を決めることができ、本当によかったです！みんなありがとう！

🌀かわ組編(4日欠:いゅうと、のかぜ 早退:ゆら、れい)

前日、**たいき**のことについて話したいと言っていた。朝のミーティングで問いかけてみる。

山田『なにか、言いたいことがあるひとは教えてほしいな。』

そうへい『**たいき**はなんで走らないのか意味不明。』**れい**『恥ずかしいからだよ』

いつき『走ってほしい。見たことないし…』**そうへい**『チームだから？』

けい『なんでかわ組なのに、チームなのに、いつもやってくれないじゃん？本番はやってほしいの』

なぎ『走りたくないんじゃない？』山田『なんで走りたくないんだと思う？』**けい**『もうちょっと遊びたいから？』**なぎ**『遊びたいからだよ』

そうへい『でもさ、なんで人任せすんのーって感じ。』**だいき**『もり組に抜かされるの嫌なんじゃない？』

みつき『私はね、ちゃーぼーの気持ちわかるよ。ざわざわがいやなんだよ…』

と、ここで**たいき**が大人と一緒に部屋に入ってきた。遊びを中断したことを怒っている。

たいきのこと、みんなで考えてるとわかってほしかった。だから、補助の先生たちには、**たいき**を部屋に連れてきてほしいとお願いしていました。部屋の隅で座っていた**たいき**。ここで問いかけてみる。

山田『今ね、**たいき**にリレー走ってほしいって話してたの。でも一緒に走ったことないから、どうして走りたくないのかなって、みんなで考えてたんだ。』**たいき**『やだ！聞かない！』

山田『みんな、なんで走ってほしいって思ってるかわかる？かわ組の仲間だからだよ。』

たいき『かわ組じゃねーよ！！』その言葉に、クラスの子たちが『あっそ！』と怒る。

山田『あのね、ぴっぴ思うんだけどね、心の底からリレーやりたくないって思ってたら、あそびでもリレー走らないと思うの。あとね、**たいき**が行ってるもう一つの園で、先生一緒にリレーしよって誘って走ってるんだって。**たいき**はね、ほんとはね、リレー走りたいんだよ・・・』

そうへい『・・・でも負けちゃうから走りたくないんだよね』

たいきはここでじっとみんなが話している方を見つめていた。さっきまで怒ってたのに、何も言わずに・・・

山田『でね、**たいき**ね、みんながリレーしてる時に、がんばれーって応援してるの。なんで応援するか、分かる？』**そうへい**『みんなが頑張ってるから』**けい**『かわ組が金メダル絶対取れるためにみんなを応援してるから』

この後、色々と**たいき**のこれまでの姿を子どもたちに話してみました。おうちで一緒に走っていたこと。少人数保育の時に走っていた姿。リレーをやるときにデッキに応援しにきていること。それに重ねて、リレーをしてみたいけれどできない、とてももどかしい思いも子どもたちに話してみました。その間、何も言わずに静かに話を聞いている**たいき**。

山田『**たいき**の気持ちもよく分かるし、みんなが今話してくれた、走ってほしいって気持ちもよく分かるんだ。ぴっぴは、**たいき**の気持ちを聞きたいの。』と席を立つ。・・・と自然と集まってくる子どもたち。

たいきは最初『やだ！やだ！』と言っていたけれど、山田が話始めると静かに聞いていた。

山田『今話しているのをよく聞いてくれてありがとうね。もうすぐ運動会で、リレー走るけど、**たいき**は

どうしたい？みんなのこと応援していてもいいし、走りたいなら走ってもいい。応援してるなら、みんな
で**たいき**の分まで走るよ。**たいき**に決めてほしいんだ。』

たいき『運動会になったら走る』山田『・・・走る???走るの?』**たいき**『一番最後がいい』

山田『**たいき**、自分で決めてくれてありがとう。でもね、一番最後のアンカーはみんなで話して決めてき
たんだ。だから、走るなら、みんなが決めた順番で走ってほしい。どう?』**たいき**『(頷く)』



たいきはよく、よく分かっています。自分のことを話しているこ
とも、言われていることも。

自分で気持ちをおさめながら、どうにか折り合いをつけようと頑張っ
ていました。走ってほしい気持ちも分かっているから、『運動会は走る』と
言ってくれたんだと思います。

山田『**たいき**走るって自分で決めたよ!!!じゃあ、みんなで**たいき**も入れて、本番の順番決めよう!』
ということで順番を決めることにした。

みつき『いちばん速いひとがアンカーになったらいいよ。**そうへい**がアンカー。』

ゆう『**けい**くんがいいと思う。**けい**くんやったとき最近勝つから』

いつき『でもそれは**けい**くんのおかげだけじゃないんだよ』山田『そうだね。全員で頑張ったから勝てた
んだよね。アンカーは最後を代表して走っているんだよね。この間タイムで一番速かったのは**そうへい**だ
けど、でもアンカーやりたいって人はいっぱいいるよね。やりたい人!!』**りた・こう・なぎ・いつき・けい・**
そうへいが手を挙げる。

山田『どうやって決める?』子どもたち『じゃんけん?』**たいき**『速い人がいいよ』

山田『じゃあ、アンカー勝負して決める?この6人で走って一番速いひとにする。』

ゆう・こう『いいと思う!』**いつき**『やる。』

そして6人は裸足に。そのほかの子たちはデッキで応援。小雨が降っていたけれど、本気の勝負でした。
結果、**いつき**と**そうへい**が同時ゴールで、決勝戦をすることに。結果・・・**そうへい**に決まりました。

部屋に戻ってきて、1番から決めていきました。どんどん子どもたちが前のめりになってきて、私なんか
隣にいただけ・・・**たいき**と**そうへい**を中心に、自分たちで『次は○番!やりたいひと!どうやって決め
る?』と進めていきました。自分たちのことは自分たちで決める・・・この姿こそ、成長です。

そして、走順が決まりました!!!!!!



それぞれが、自分で折り合いをつけて、自分自身と葛藤して、自分
の場所を見つけました。アンカーをやりたかったけどできなかった
子たちは、速いひとが走る場所 と言われていた、序盤と終盤にかた
まりました。一人ひとりが、自分で立候補して決めた走順。子ども
たちはすっきりした表情してたな・・・雨でこの日は走ることはで
きなかったけれど、『明日は最後だからね、がんばろう!』と声を掛
けると『当然だけど?』といった感じで頼もしい子どもたちです。

(5日 欠:ゆら・れい)

朝、子どもたちと『今日が最後の対決。あとは、運動会の本番だよ』と話しました。ドキドキする・・・というより、ついにか！という感じ？まずは、昨日決まった走順を確認して・・・

山田『今日は、**ゆら・れい**がお休み。あとは、**たいき**は…』と言いかけたところで『本番は走るんだよね』という声が。山田『そう！だから、そこもカバーするから今日は2回走る人が3人必要！』すると立候補した**れいな・けい・いた・いつき・なぎ・そうへい・いお**。じゃんけんで決めることになり、今日は**いお・けい・なぎ**にお願いすることになりました。

そしてゼッケンを着て園庭へ。実は今日、競技の確認を子どもたちとしてからリレーをするつもりで話をしていたのですが、私が園庭に行くと既に自分たちで順番に並んでいた子どもたち。

子どもたち『次〇番だよー！並んでー！』山田『みんな！ほらさっき言ったじゃん、最後にリレーするからさ、まあまあ落ち着いて・・・！』**なぎ・すみれ**『落ち着けないよ！！』子どもたち『そうだよ！』熱がすごい・・・すさまじい……。そうだよ、落ち着けないよね！！！！ということで順番変更、リレーからやることに。

今日も本当にどっちが勝つか分からない超接戦！！！！！！！！！！かわ組は負けでした。でも、『本番は勝つよね！』とすぐにトラックを走りにいった子どもたち。とても前向きです。

その後、ご飯を食べて・・・**すみれ**と**てまり**の会話。

てまり『今日たいき応援してたね』**すみれ**『聞こえたね』



実は、リレー対決が始まる前にデッキに応援に来ていた**たいき**。かわ組の走っている子の名前を呼びながら大きな声援を送っていました。まさに、自分も一緒に走っているような声援でした。

そしてかわ組が負けたことが分かった**たいき**は、わんわん大きな声で泣いていたのです。

『かわ組が負けた』・・・と。

みんなの思いも、**たいき**の思いも、それぞれに通じています。一人ひとりがきちんと意識しています。勝った負けたの経験が、どれだけ子どもたちに影響を与えるのか……。リレーって、すごいな。みんながバトンを繋ぐって、こういうことなんだな……。

当日はどんな形になるかわからないけれど、子どもたちの姿に、できる限りの拍手を送ってあげたい。全員で、子どもたちの姿をしっかりと見守ってあげたい。そう感じた、最後の対決でした。